

群馬建協 ICT活用施工でアンケート

群馬県建設業協会（青柳剛会長）が2月に会員企業を対象に「ICT（情報通信技術）活用施工に関するアンケート」を実施した。

回答内容を見ると、ICTで対象とならない。どのレベルまで進めていくのかも、導入コストの高さを指摘する意見も目立った。具体的には「県・市町村で現在受注をしている工事規模で

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

高い関心も導入範囲に不安の声

トが増える。費用の増大分「土質区分が均一でなく、レータが刻々とマネジメを設計にあらかじめ組み込んでいないと受注者の負担ばかり重くなる」声があった。加えて「ICT建機のレンタル料金が高いので導

「現場に3D化の設計データを用いることで、複合的な線形での施工も管理位置の情報が明確になり効率が良くなる。重機オペレータの熟練工が少なくなっている。施工精度の向上にもつながると思う」と、生産性向上の面から高く評価する声が多かった。群馬建協の青柳剛会長は「専門紙との会見でICT活用施工導入の見通しについて「護送船団的に導入が進むのではなく、協会員でも

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ

は、機械経費入する現場に限られる。え、バックホウにはバケツト以外に多様なアタッチメントが必要となる事象が多い状況が訴える。その上で「山間部では重機のポジシングに関してオペ